

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者

住 所 埼玉県川口市並木1-2-12

氏 名 特定非営利活動法人子ども支援ホーム 代表理事 内田剛史

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第5章1（1）①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名		学童保育じやんぶ鷺宮クラブ									
2	学童クラブの所在地		郵便番号	165-0032	住所	東京都中野区鷺宮5-24-23 鷺宮パレス101						
3	設置・運営形態		民 設 民 営									
4	設置主体	名称	特定非営利活動法人子ども支援ホーム									
		住所	郵便番号	332-0034	住所	埼玉県川口市並木1-2-12						
		代表者	代表理事 内田 剛史									
5	運営主体	名称	特定非営利活動法人子ども支援ホーム									
		住所	郵便番号	332-0034	住所	埼玉県川口市並木1-2-12						
		代表者	代表理事 内田 剛史									
6	学童クラブ事業開始年月		令和	2	年	4	月					
7	認証学童クラブ事業開始年月		令和	7	年	4	月					
8	支援単位 ^(※1) との状況	専用区画面積	(部屋名)	66	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)				1.65	m ²	
		児童数	40	名								
		職員体制	放課後児童支援員（常勤）			3	名	放課後児童支援員（非常勤）			3	名
			補助員（常勤）			0	名	補助員（非常勤）			4	名
9	開所時間	平日	放課後から		20:00	まで						
		土曜日・長期休業期間	7:30	から	20:00	まで						
10	国庫補助の有無		有									
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無		有									
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無		有									
13	長期休業期間中の昼食提供		有	夏季休業期間	28	日間提供	提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (学童クラブによる手配)				
			有	42	(夏季休業期間の全日数)							
			有	冬季休業期間	3	日間提供						
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有(別紙様式2のとおり)									
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有(別紙様式2のとおり)									
		15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無	有	令和	12	年度	受審予定				
16	直接契約の有無(民設民営の場合のみ)		有									
17	利用料	月額	5,600	円								
		協議書提出有無 (月額利用料14,000円を超える場合)										

※1 支援単位が2つ以上となる場合は、第1号様式乙に記載ください。

活動内容の詳細

第1号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容

- ①毎日おやつ後に子どもたちと意見交換
- ②子どもアンケート実施（手作りおやつで食べたいもの、日々の食べたいおやつ、遊びたい玩具、読みたい本、実施したいイベント等）
- ③意見箱の設置をし、子どもたちの意見を取り入れる。

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数		具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎 日		①室内遊び（自由遊び中） お手玉、卓上卓球、ダンス、粘着ボール投げダーツ、手作りボーリング 等 ②屋外（公園） 繩跳び、鬼ごっこ、フラフープ、遊具 等 ③ダンス講師によるダンスレッスン（毎）週火曜 ④公民館（長期休み中） リレー、鬼ごっこ、ボール遊び、縄跳び等
「製作活動等」	毎 日		お絵かき、塗り絵、折り紙、ブロック、レゴ、チューブ工作おもちゃ、自由工作 季節の工作
「地域の文化等に触れる体験」	4	回	①中野駅前大盆踊り大会にダンス出演（毎年8月） ②かみさぎハロウィン参加&ダンスパフォーマンス ③地域のお祭りに参加し、伝統文化や歴史を体感。 • 鷺宮八幡神社例大祭に参加し、ダンスパフォーマンスを披露する。 その後、鷺宮地域に伝わる伝統芸能「鷺宮囃子」を見学。 • 鷺宮地区まつりに参加している。 ④鷺宮の歴史をたどる会に来ていただき、地域の文化や歴史についての講演を行っていただく。
「自主学習」	毎 日		①宿題はもちろん、漢字検定などを自主的に勉強できる時間を設けている ②子ども新聞、学習漫画、辞書・辞典、図鑑、漢字・計算等の問題プリント等を設置、子どもの自主学習を促す環境を作っている
「児童の意見を反映させた行事」	5	回	手作りおやつについて • 手作りおやつの内容を児童が意見を出し合い話し合いをして決定し、材料、作り方を調べ、児童が中心になって開催している（年3回） 子ども主催のイベントについて • 夏休みイベントとして、夏祭りを児童が企画し、段ボールなどの材料を使って児童のみで夏祭りの屋台や縁日コーナーを1か月かけて準備をし、開催している。 • 年度末のお楽しみ会の内容も児童で意見を出し合い、複数の内容を決定し毎年実行している。

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となって いるか	は い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は い
-------------------------	-----	-------------------------	-----